

「ミモザ」(土手)

春といえば、「桜」です。満開の「桜」を見るとちょうど繁忙期の今、元気をもらえると云いますか、不思議なパワーを感じる事が出来る、大変ありがたい存在です。そんな「桜」の開花よりちょっと前に咲く「ミモザ」という花があります。我が家のミモザを紹介すると、3年程前に苗木を買って育ててきましたが、ひよろひよろと頼りなく、全然花が咲きませんでした。毎日のように水をやったり、時期を見て肥料をやったりと手がかかりました。この冬の大雪では、雪の重みで倒れてしまうんじゃないかと心配しましたが、紐で縛るなどして何とか厳しい冬を越すことが出来ました。すると先日から少しずつ蕾が開花し、きれいな黄色い花を咲かせています。何とも言えない自然の鮮やかな黄色に心癒されております。ミモザの花言葉は「感謝」。春の楽しみを増やしてくれて、どうもありがとう。



今さら聞けない 経済用語

今月の教えてキーワード：【キャッシュレス決済】

クレジットカードや電子マネーなど現金以外の支払い手段を指す。2020年現在、日本の決済比率は約30%で海外と比べて普及が遅れており、その要因として移行の手間やセキュリティーへの不信感がある。経済産業省は2018年に策定した「キャッシュレス・ビジョン」で、2025年までに決済比率を40%、将来的には80%を目標とした。新型コロナウイルスなど現金を介した感染症を防ぐ対策にもなるため注目されている。

知っとこ! 「税務のマメ知識」

【DX投資促進税制が創設されました】

2021年度の税制改正でデジタルトランスフォーメーション(DX)投資促進税制が創設されました。これはデジタル技術を浸透させることで人々の生活をより良いものにしたたり、革新的なイノベーションをもたらせるための



ものです。クラウド活用やサイバーセキュリティーなどのデジタル関連投資を行うことにより企業に産業競争力をつけてもらう。それを後押しすべく、DXの実現に必要な投資を行った場合、特別償却または税額控除を受けられる制度です。具体的には2023年3月31日までに改正産業競争力強化法に定める事業適応計画の認定を受けた青色申告法人が、その計画に従って投資を行った際に、その取得価額の30%の特別償却または3%（グループ外の事業者との連携は5%）の税額控除を受けることができます。この制度を受けるためにはデジタル要件と企業変革要件の2つを満たす必要があります。デジタル要件はデータの連携やクラウド技術の活用などで、企業変革要件は生産性の向上または売り上げの上昇が見込まれることなどです。手続きの流れとしては、2023年3月31日までに事業適応計画の認定などの確認を受け、対象となる設備を取得し事業の用に供する必要があります。またこの後も計画の実施期間中は、報告書を提出し最終事業年度には成果目標の達成が求められます。

今を生きる
先人の言葉

別寝
マ
起
き
り
や
の
日
だ

杉浦日向子の漫画『百日紅』の中のセリフ。失敗したことをいつまでも悔やんでいてはキリがない。明けない夜はない。寝ちまえ、寝ちまえ、寝て起きりゃ別の日だ。